



### 音楽は「音学」ではなく「音楽」

今では音楽の教科書にも載っている、井上陽水作詞・井上陽水・平井夏美作曲「少年時代」は1990年に発表され、多くのアーティストがカバーしているのを始めCM等にも度々使われている名曲です。もともとは、その名もズバリ「少年時代」という映画の主題歌として依頼され、井上陽水がスタジオに籠もり数週間かけて完成に至ったようです。ちなみに原作を漫画にしたのは藤子不二雄Aさんです。

ところで、井上陽水は中学生の時、音楽の授業中友達とふざけていて、「罰」として歌わされることになるのですが……あまりの美声と歌のうまさに音楽の先生は驚いてしまったというエピソードがあります。後に陽水は、「歌を人前で歌うことが『罰』となり得てしまうことがいかにも日本で、これが欧米だったら、人前で歌うことは『誇り』となるのに」と述べています。陽水の美声や歌唱力はプロの音楽家の認めるところではありますが、セカンドアルバム「センチメンタル」のライナーノーツには、「(10歳頃) 町内旅行に参加、貸し切りバスの案内用マイクを手にし美空ひばりをうたい、初めて人前で称賛の快感によいしれ、同時に美声を自覚する」と自ら綴っています。その後、ビートルズ等の影響を受けシンガーソングライターへの道へ。余談ですが、陽水の父親は歯科医であり、家業を継ぐため歯科大学を受験するも三度失敗。ファーストアルバム「断絶」のライナーノーツには、両親への申し訳なさからか、10年後に再受験すると書いています。

さて、中学校の音楽は何を学習するのでしょうか。学習指導要領には次のとおり書かれています。

目標 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

では、各学年、年間の授業時数はどれくらいでしょうか？ 1年生45時間、2年生・3年生は35時間です。これは、美術と同じです。いわゆる芸術科目は週1時間程度であり、果たしてこの時間数で「豊かな情操」(美術の目標の中にも「豊かな情操を培う」文言あり)を培えるのかと思ってしまうのですが、全国の公立学校の音楽担当教諭はこの時間数に則って授業を行っているわけです。そんな中、各学校では、体育祭と双璧をなす「合唱祭」を開催しています。本校の合唱祭の目的は上記に加え、自己表現力の育成と集団への協力的態度の高揚です。授業時数が限られているため、休み時間や放課後も練習するのはそのためです。

保護者や地域の皆様は、音楽の授業そして合唱祭(合唱コンクール)についてどんな思い出がありますか？ また、音楽がその後の人生を豊かにしたり影響を及ぼしたりしたことなどはありますか？

高校に進学した生徒が母校の中学校に遊びに来て、決まって言う言葉があります。何だと思いませんか？

答えは…「高校は合唱祭がなくて寂しい」です。それは、高校は芸術科目の音楽や書道等は選択制となり、同一学年で同じ科目を履修することがないからです。

今、実行委員が合唱祭の準備を進め、クラスでも各リーダーが中心となって練習しています。数十年も歌い継がれている合唱曲の定番『マイバラード』の歌詞に、「みんなで歌おう 大きな声を出して 恥ずかしがらず 歌おうよ」とあります。一生懸命がかっこいい。きたる10月23日(月)、鴻巣市文化センター クレアこうのす大ホールに響き渡るハーモニーを今から楽しみにしています。 (校長 橋本 浩)